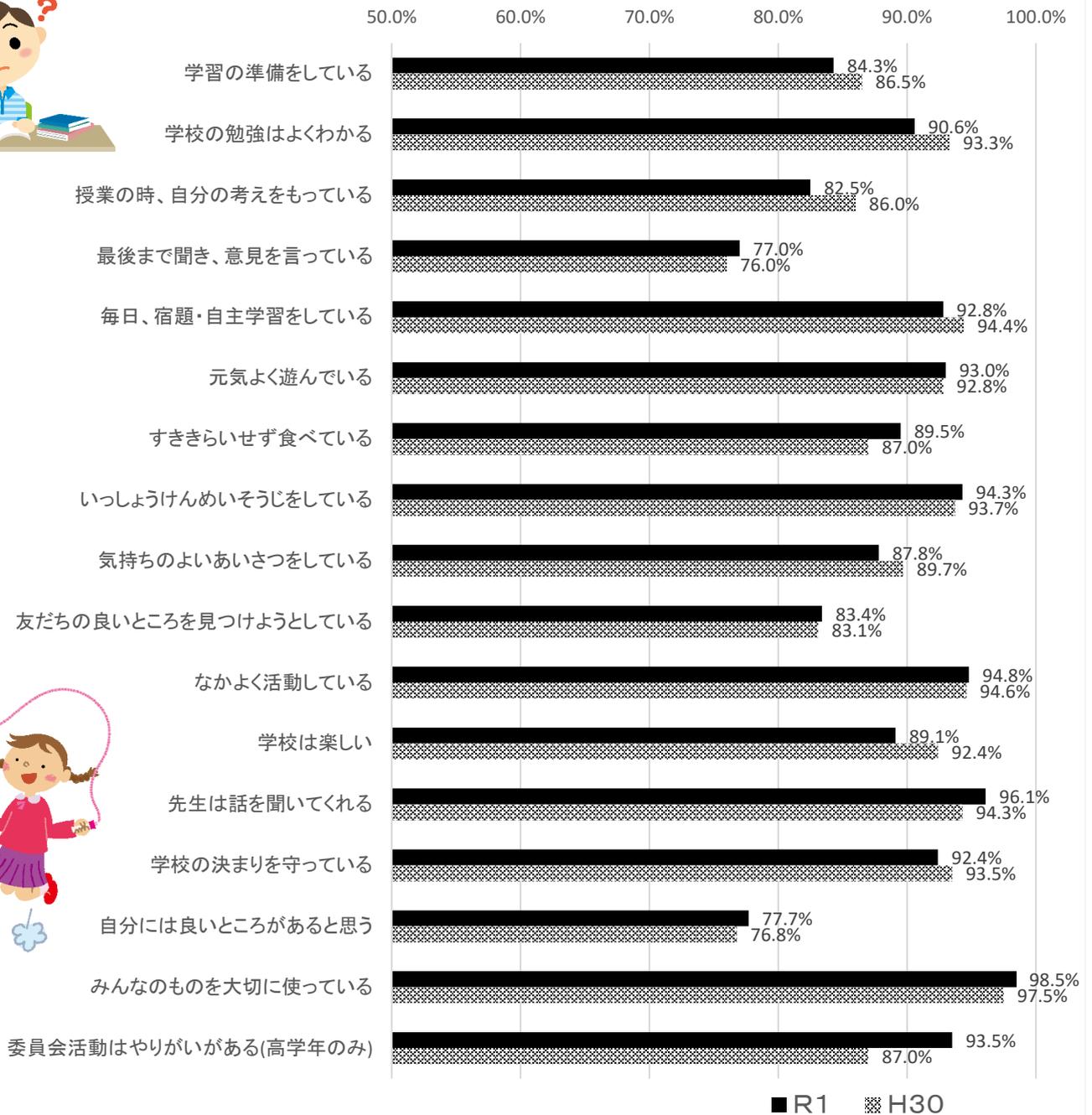


児童アンケートより

※「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた割合



「自分には良いところがある」「一生懸命そうじをしている」「先生は話を聞いてくれる」が昨年度より少し増えていますが、「学校は楽しい」「学校の勉強はよく分かる」「授業の時、自分の考えをもっている」が減っています。学校では、毎日、人と違った考えや様々な思いを持った子どもたちが、友だちや先生と関わりながら勉強したり遊んだりします。「毎日楽しい」と思う子がたくさんいるほうが確かに望ましいことですが、勉強に悩み、友だちと時にケンカをしてしまうことも大切な経験だと考えています。学校として大切にしたいことは、子ども一人ひとりの声をていねいに聴き、それに応えることです。今後も引き続き、個々に応じた対応を心がけていきたいと思ひます。

なお、保護者アンケートと合わせて、この結果を学校関係者（PTA会長、連合自治会長、学校評議員等）の方々に構成する「学校関係者評価委員会」（本校では「ふれあい協議会」と言ひます）にて評価をしていただき、次年度に向けた学校運営に活かします。ふれあい協議会で出された意見は、次号の学校だよりで紹介する予定です。

